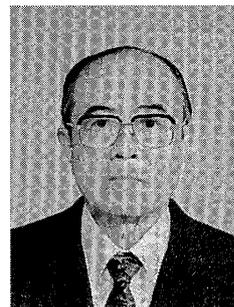


## 山下太郎先生のご逝去を悼む



本学会の名誉会員であられました山下太郎先生が、平成12年9月22日にご逝去なさいました。行年88歳でした。

先生は、食品分析センターにおける業務活動を通じわが国の食品分析システムの確立に尽力するかたわら、本学会発足時の発起人の一人として、調理科学研究会の創立および当初の運営に力を尽くされ、今日の学会隆盛の基礎を築いたおひとりであります。

創立から昭和62年までの20年間、常任理事として企画全般を担当し、また学会誌『調理科学』（後に『日本調理科学会誌』に変更）の編集委員として、会誌の円滑な発行に貢献なさいました。また、関東支部の発足間もない時期に役員として支部の運営に参加されるなど学会の活動に参加され、平成5年、日本調理科学会功労賞を受賞なさいました。

山下先生が、日本調理科学会の発展、わが国の調理科学の進歩発展に寄与した功績は大変大きいものであり、平成9年には本学会の名誉会員に推挙されました。

ここに先生の略歴を記し生前のご功績を偲ぶとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

昭和11年3月	京都帝国大学農学部農林化学科卒業
昭和11年4月	日本肥料株式会社入社
昭和25年～53年	社団法人日本水産油脂協会（理事・監事歴任）
昭和32年～60年	財団法人日本食品分析センター
昭和35年12月	天然ビタミンA油の研究により農学博士
昭和43年～62年	調理科学研究会・日本調理科学会常任理事
昭和63年～平成3年	日本調理科学会関東支部監事
平成5年	日本調理科学会功労賞受賞
平成8年	日本調理科学会名誉会員